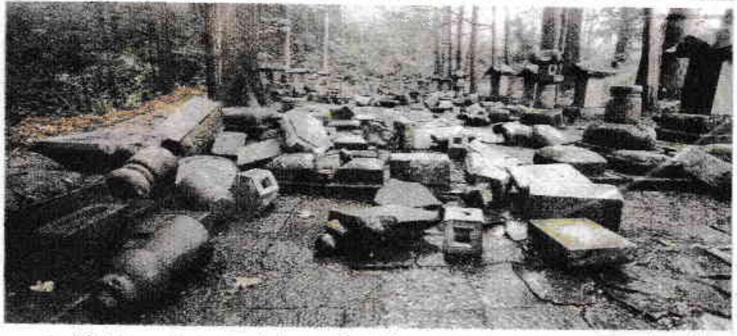
しんぶん　つむぐ

『紡ぐ』

2020.3.1　第19号
発行　教育相談室「あした塾」



仙台市・伊達政宗の霊廟（れいびょう）がある瑞鳳殿参道の入り口付近（写真他は北陸中日新聞より転載）

宮城・福島 震度6強！

2月13日夜、震度6強の地震が宮城・福島を襲いました。「またか！」でしたが、10年前の東日本大震災時の余震とのことでした。10年も経っているのに「余震？」ということですが、10年は人にとっては長い年月であっても、地球の歴史にとっては〝ほんの一瞬〟です。何の不思議もありません。能登半島地震から14年になりますが、これもまた〝一瞬〟の範囲です。日頃の『備え』がとても重要になります。今回の福島沖地震を機に、もう一度、『備え』を確かめてみませんか！？

（北陸中日新聞より）

宮城県の伊藤さんの話から

10年前の東日本大震災のあと、穴水町ボランティア連絡協議会はこれまで、9回、宮城県七ヶ浜町を訪れています。その関係で、現在も交流を続けている宮城県七ヶ浜町の伊藤ちよ子さんに、今回の地震についてお話を聴くことができました。

伊藤さんはケガもなく、家も大事にはいたらなかったようですが、「10年前に大変な経験をしたのに、あわててしまって、何を持って逃げればいいのかわからなかった。」「水を…とか、なんか情けないね。」などと話してくれました。能登半島地震を経験した穴水町ですが、やはり、風化が進み、ゆるくなっているところがあります。

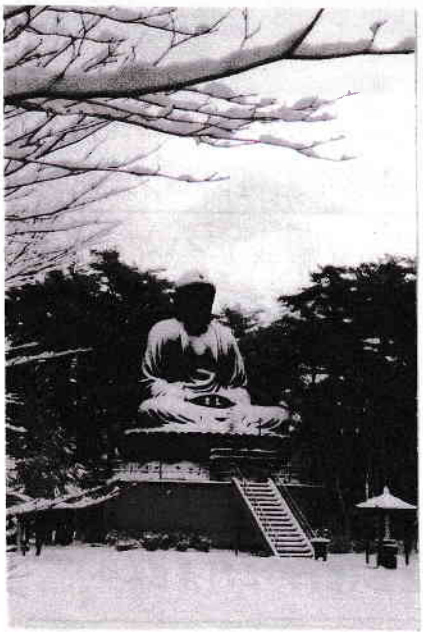
能登半島地震14年

能登半島地震から14年になります。記憶もどんどん遠くに行ってしまいます。でも、先の福島沖地震のように、いつ災害に襲われるかわかりません。社会福祉協議会では、毎年、「能登半島地震メモリアルイベント325」を開催し、経験と教訓を伝える活動をしてきています。昨年は計画されたイベントは新型コロナウィルスの関係で大幅に縮小された形でしかできませんでした。今年も規模は小さいですが実施予定です。〝風化させない〟〝忘れない〟です。

写真は2019年のイベントの様子です。

教育相談室連絡先：穴水町梶1の197　滝井元之
TEL：56-1151　FAX：56-1152

春なのに



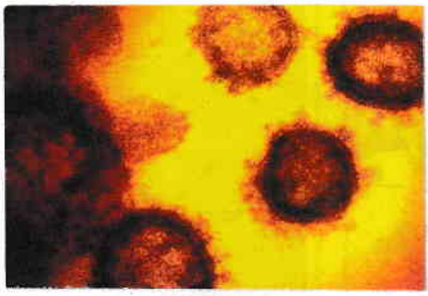
（能登長寿大仏 2月17日撮影）

2月17日、天気予報通りの大雪でした。朝、〝雪の大仏〟を…と真和園に向かいました。

誰も来ていない真っさらな雪と大仏を撮りたかったので期待をふくらませながら車を走らせました。駐車場には車の跡がなく、〝よし!!〟と思って車を降りると、大仏に向かう足あとが…。

残念でした。一番ではありませんでした。地元の人なのかお参りに来たようでした。

しかし、一面は真っさらで、出来上がりはイマイチでしたが、なんとか思っていた写真が何枚か撮れました。雪はウンザリ。春なのに、30cmほど積もりました。



新型コロナウィルス

これどう考える?

2月17日、国内でもワクチン接種が始まりました。その効果が大きいものであることを期待しています。ところで、こんなデータをまとめてみました。皆さんはどう考えますか？

（2月22日現在）

	感染者数	（人）	人口1万人当たり	（人）
1	金沢	831	穴水	26.63
2	小松	198	かほく	26.35
3	白山	164	能美	26.24
4	能美	131	川北	22.70
5	野々市	101	野々市	18.87
6	かほく	94	小松	18.38
7	加賀	89	金沢	18.42
8	津幡	34	白山	14.45
9	穴水	21	加賀	13.63
10	内灘	19	宝達志水	12.51
11	宝達志水	16	津幡	9.05
12	川北	14	能登	7.66
13	能登	12	内灘	7.19
14	輪島	11	輪島	4.29
15	七尾	8	羽咋	3.34
16	羽咋	7	中能登	2.83
17	中能登	5	志賀	2.55
18	志賀	5	七尾	1.56
19	珠洲	0	珠洲	0

（人口は住民基本台帳月報、令和2年12月末現在のもの）

より気をつけて

国会議員らの腹立たしい行動もありましたが、責任ある立場の人たちはより気をつけなければいけません。町民の皆さんはいろいろ頑張っています。きついですが、これあとも頑張りましょう。

（**お知らせ**：町議会が3月8日（月）から始まります。一般質問は3月12日（金）1:30からです。政治に関心を持ちましょう。傍聴しましょう。）